

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	情報工学科	
情報処理Ⅲ (Information Processing III)	担当教員	豊平隆之 (Toyohira, Takayuki)	
	教員室	情報工学科棟5階 (Tel. 42-9090)	
	E-Mail	toyohira@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	授業(100分)×30回		
[本科目の目標] 2年次の情報処理Ⅰの講義に引き続き、実務上広く使われているCでのプログラミングを学ぶ。			
[本科目の位置付け] 本科目を修得した場合、プログラミングを使用する科目の基礎となる。			
[学習上の留意点] 教科書の基本的な例題、演習問題を中心に演習を進めていく。事前に机上で例題プログラムを予習し、練習問題に取り組むといった努力をしなければプログラミングの能力は身につかない。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 構造体  --- 前期中間試験 ---	14	構造体の定義、構造体変数の宣言を理解し、応用できる。 構造体メンバ、構造体の代入を理解し、応用できる。 列挙型の定義、列挙型変数の宣言を理解し、応用できる。  授業項目1について達成度を確認する。	構造体の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
2. おもしろいプログラム  --- 前期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	14  2	エラトステネスのふるいによる素数表を理解できる。 ライフゲーム、再帰呼び出し、ハノイの塔、クイックソート、8クィーン問題を理解できる。 分割統治法やバックトラックを応用できる。  授業項目2について達成度を確認する。  試験において間違った部分を理解できる。	おもしろいプログラムの内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
3. 総合演習  --- 後期中間試験 ---	14	今までに学習した項目を利用して、実用的なまた役に立つプログラムを作成できる。  授業項目3について達成度を確認する。	作成すべきプログラムの仕様を事前に提示するので概要を把握しておく。
4. データ構造  --- 後期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	14  2	リスト構造、双方向リストを理解できる。 キュー、スタックを理解できる。 リンク配置を応用できる。  授業項目4について達成度を確認する。  試験において間違った部分を理解できる。	データ構造について、事前に配布する資料を読んで概要を把握しておく。

